

平成30年度 普及活動の結果

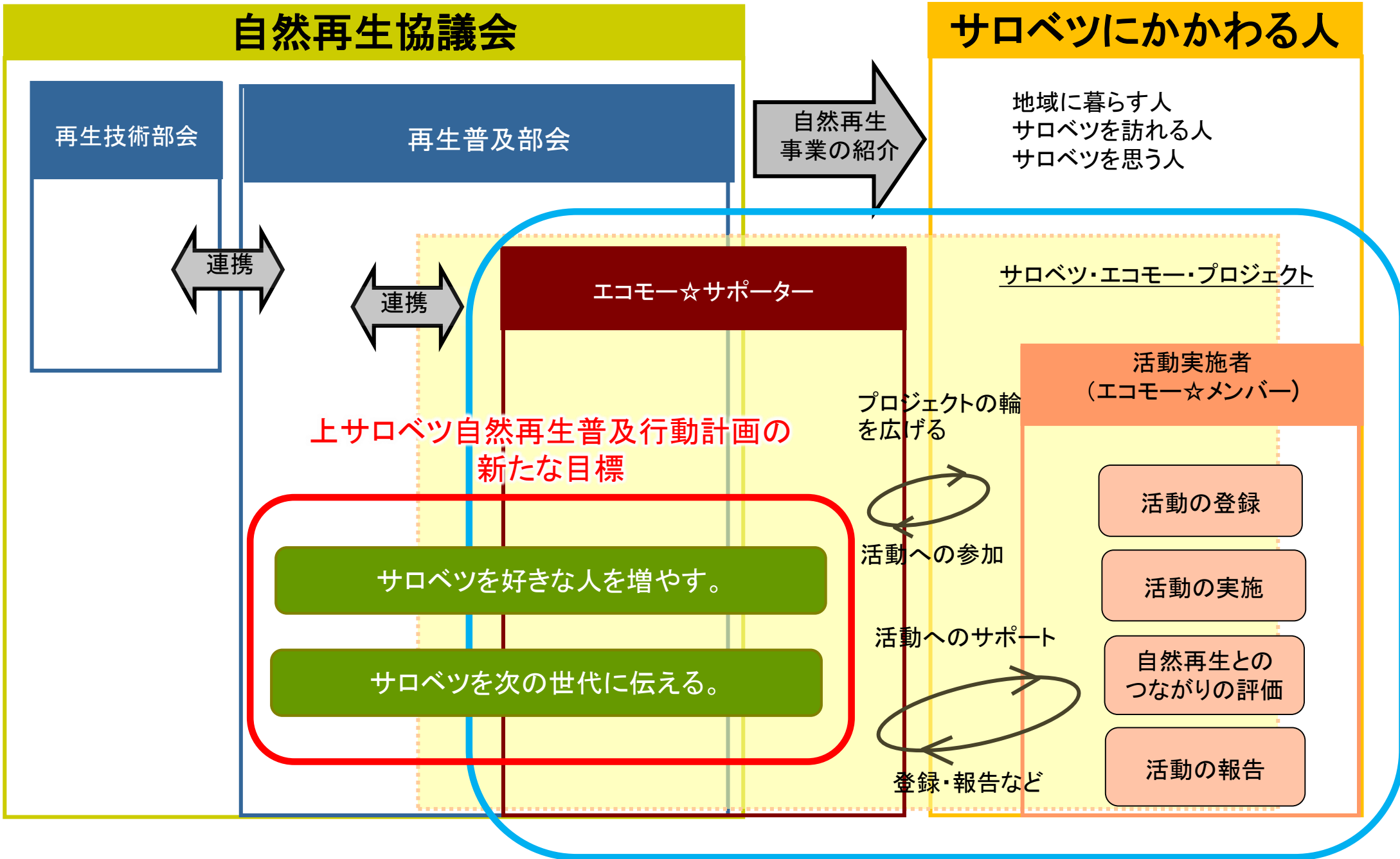


平成31年3月5日

上サロベツ自然再生協議会 第19回再生普及部会

(1) 自然再生普及活動の進め方

自然再生普及活動の進め方



自然再生協議会

再生技術部会

再生普及部会

連携

連携

自然再生
事業の紹介

サロベツにかかわる人

地域に暮らす人
サロベツを訪れる人
サロベツを思う人

エコモー☆サポーター

サロベツ・エコモー・プロジェクト

活動実施者
(エコモー☆メンバー)

上サロベツ自然再生普及行動計画の
新たな目標

サロベツを好きな人を増やす。

サロベツを次の世代に伝える。

プロジェクトの輪
を広げる

活動への参加

活動へのサポート

登録・報告など

活動の登録

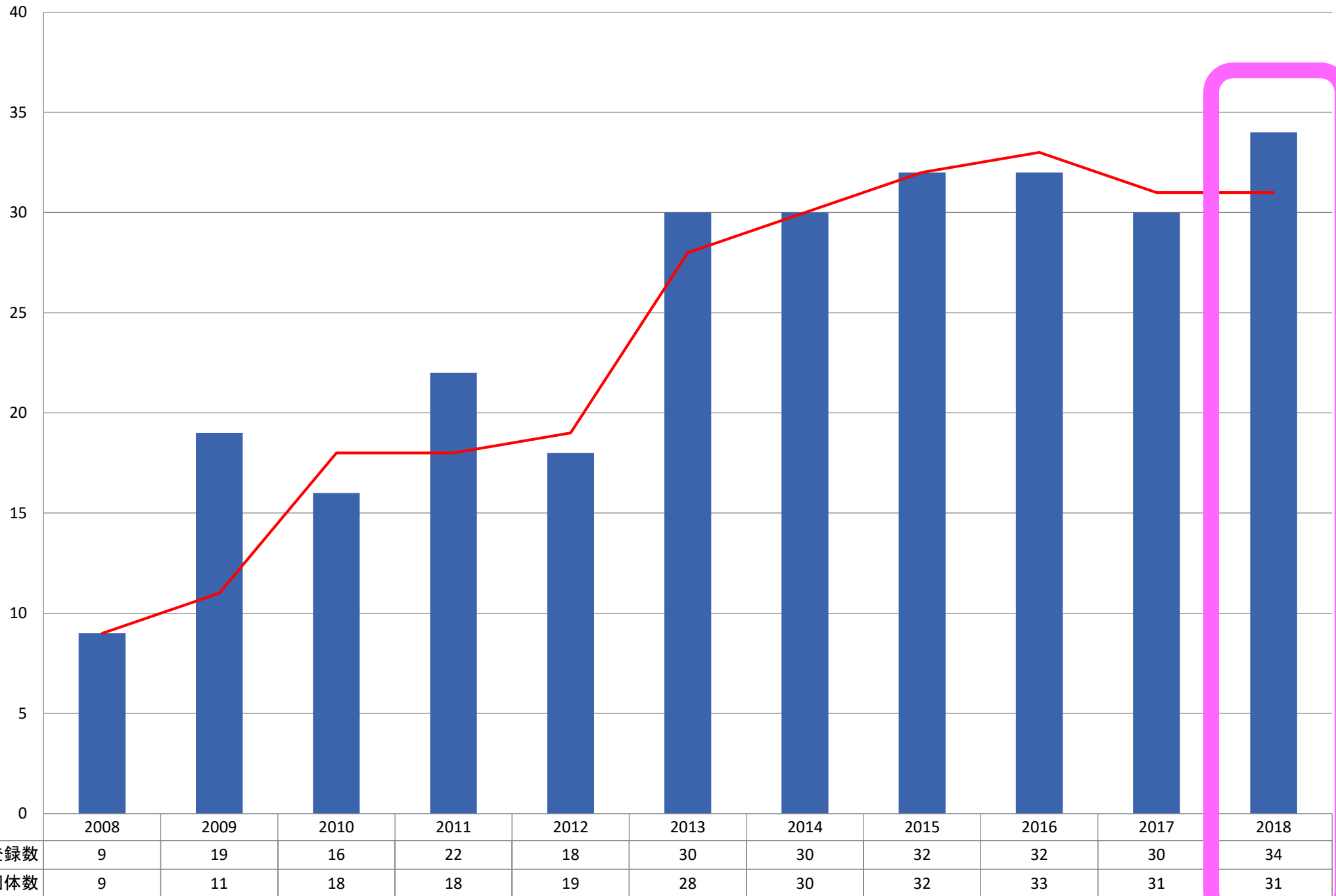
活動の実施

自然再生との
つながりの評価

活動の報告

(2)平成30年度エコモー・プロジェクトの ふいかえり

サロベツ・エコモー・プロジェクト 今年度の登録数





豊富高校(ホッキ祭りボランティア)



豊富高校(自転車レースボランティア)

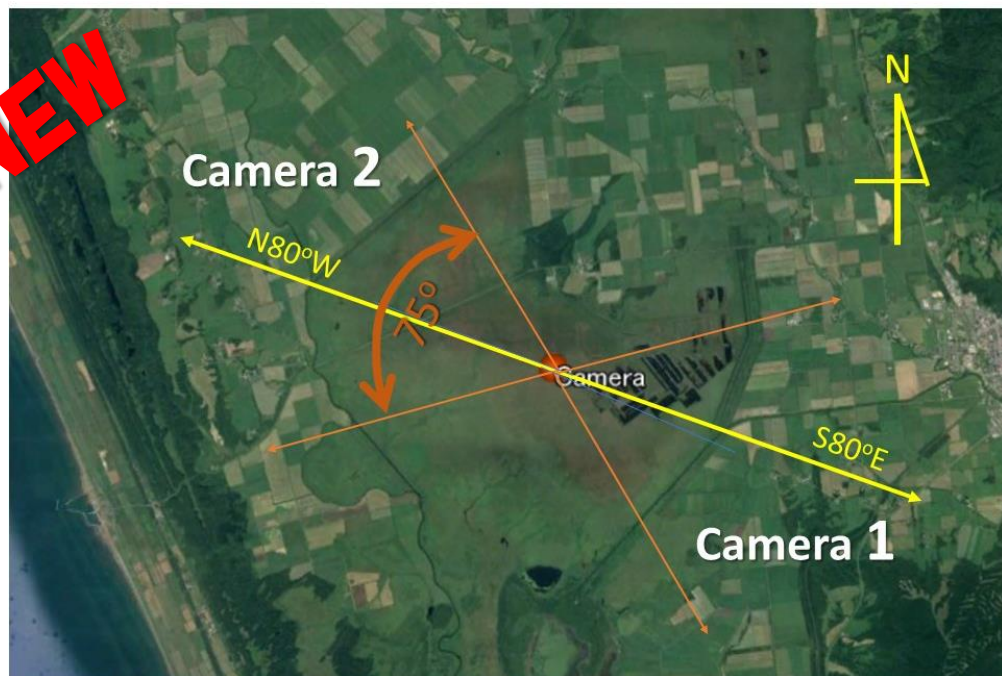


パークボランティア

実績

- 今年度は新たな活動が多く、新規で**9件**の登録があった。
- 新規の団体は**1件**の登録があった。
- **団体同士のつながり**ができていた。

NEW



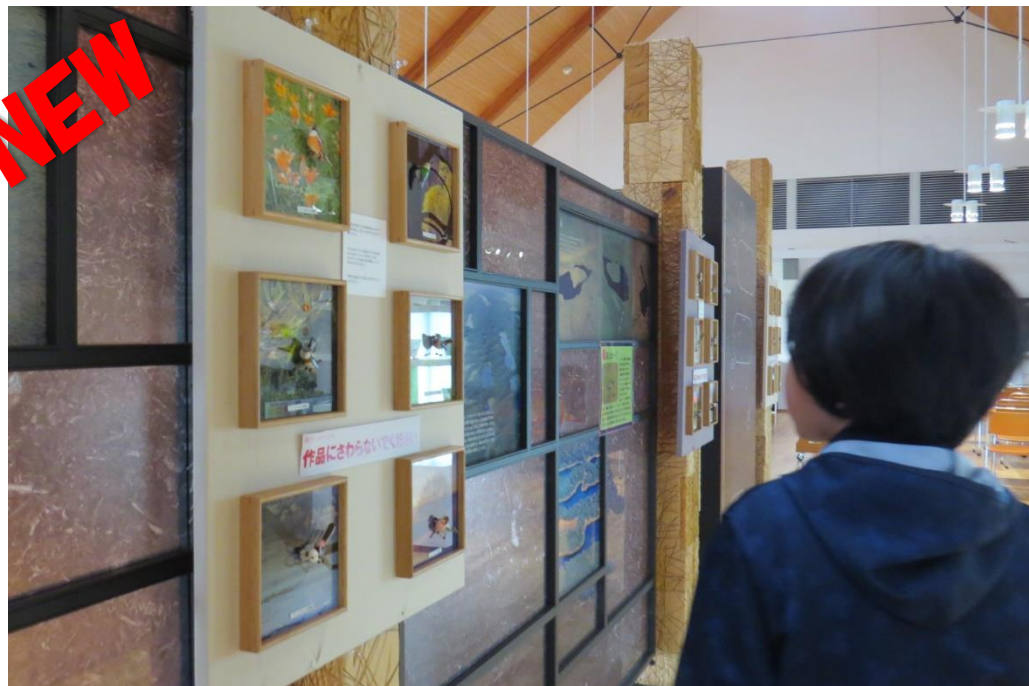
サロベツ学会(植物カメラ設置)

NEW



羊毛フェルト

NEW



室内バードウォッチング

NEW



子供パークレンジャー

活動実施者の声

今後もサロベツにある豊かな食材の活用方法や農村の素晴らしさを伝える活動を続けて参ります。(伝承の会)

観察会がきっかけで、四季を通じて一度はサロベツ湿原に足を運んでもらえれば嬉しいです。(オバパワークラブ)

自転車レースでは、自然の中で全国各地からレースに参加する選手と触れ合いながら活動できました。(豊富高校ボランティア部)

Seicomartの「北海道牛乳」は私たちが生産しています。豊富町内の酪農家からのみ作られるこの牛乳を皆さんに届けるために、日々経営技術を磨いています。これからも、私たちが作った牛乳を安心して飲んで下さい。(豊富町4Hクラブ)

ポニーと言っても、迫力・スピード感が味わえ、盛り上がります。来年はもっと多くの方にお越いただきたいです。(ポニー東條さん)

(3)年間活動計画からみた振り返り

平成30年度 普及部会及びエコモ－☆サポ－ター行動計画

【自然再生普及活動の目標】 ①サロベツを好きな人を増やす。

②サロベツを次の世代に伝える。

E☆Sの役割	目標を達成するための取組（実施計画）	
	具体的な取組 (個々の実施計画毎に、別途、目標、実施方法、効果の判定、次回への反省等をまとめる。)	実施の中心者
〈役割1〉 上サロベツ 自然再生に 対する人々 の理解を深 める	自然再生を伝えるイベントを開催する	
	①エコモ－☆パークを開催する	実行委員会 (E☆S+α)
	②エコモ－Dayを開催する	実行委員会 (E☆S+α) (環境省/サロエコ)・・・昨年の場合
	③巡回展の実施	E☆S
	自然再生を伝えるための情報発信	
	①自然再生HP	豊富町役場、各機関
	②SNSやYouTube等を通じた発信	E☆S
	③メンバー一人一人からの情報発信	メンバー
	④「サロベツ自然再生通信」の発行 年4回の発行	協議会事務局
	メディア戦略	
①メディアへの働きかけ	E☆S/E☆S事務局	
〈役割2〉 自然再生に 取り組む人 や団体をつ なげる	エコモ－☆メンバー同士の交流の場をつくる	
	①エコモ－交流会の開催	E☆S
	②エコモ－Caféの開催	メンバー有志
	SNSやネットの活用	
	①メーリングリスト	E☆S事務局
	②FBやLINE等の活用	E☆S事務局
	新たなメンバーの勧誘	
	①イベント時に登録ブースを設ける	E☆S事務局
	②メンバーからの誘い	メンバー
他協議会との交流		
①他協議会との交流と情報の共有（参加者からの報告）	協議会事務局	
〈役割3〉 エコモ－・ プロジェク トの推進を 図る	エコモ－プロジェクトの活動支援	
	①運営への協力 会場の提供、広報宣伝の協力、人的協力	E☆S（湿原センター、町施設）
	②活動サポート情報の提供 助成金募集情報、ノウハウなど	E☆S

(3) 年間活動計画からみた振り返り

平成30年度の目標

- ①サロベツを好きな人を増やす
- ②サロベツを次の世代に伝える

< エコモー★サポーターの役割 >

< 役割1 >

- 上サロベツの自然再生に対する人々の理解を深める

< 役割2 >

- 自然再生に取り組む団体を繋げる

< 役割3 >

- エコモープロジェクトの推進を図る

<役割1>

上サロベツの自然再生に対する人々の理解を深める

<具体的取組>

- ① 自然再生を伝えるイベントを開催する
- ② 自然再生を伝えるための情報発信
- ③ メディア戦略

①自然再生を伝えるイベントを開催する 〈エコモー☆パークの開催〉

実績

- ・7/29ホッキ祭り会場にて開催
- ・クイズラリーの景品として用意した牛乳200本が全てなくなるほどの盛況ぶりだった。(これまでで初めて)
- ・親子連れなど多世代の方にもお越しいただけた。
- ・豊富高校さんにも手伝っていただいた。
- ・参加者は地元よりも稚内在住の方が多かった。
- ・**実施内容**:自然再生パネル展・クイズラリー、カルタ大会、バター作り体験、クラフト

今後に向けて

- ・パネルの数を精査し、焦点を絞り込んだ方が良い。
- ・多くの方々に見ていただけるように、呼び込みをもっと積極的に取り組んでいく。



①自然再生を伝えるイベントを開催する ＜エコモ－Dayの開催＞

実績

- ・来場者数は161名(前年比175名)
- ・観光協会さんに実行委員会にも参加してもらえた。
- ・幌延との連携もできブース内は賑やかであった。
- ・3連休の初日に実施したが、来場者に恵まれなかった。

出展団体: **豊富町観光協会、さろママ、サロベツファーム**

伝承の会、JA北宗谷・北宗谷青年部、豊富消防署、

今後に向けて

- ・農家の方に参加してもらうには、9月中に実施するのが望ましい。
- ・連休の割に集客が少なかったので、開催日は再検討。
- ・温泉地区で活動されている方にも参加してもらえよう声掛けを行っていく。



①自然再生を伝えるイベントを開催する ＜エコモープロジェクト巡回展の実施＞

実績

- ・定住支援センター、湿原センター、幌延ビジターセンターのほか、ホッキ祭り会場でも実施した。
- ・活動報告集100部を用意し、全て配布できた。

今後に向けて

- ・イベント扱いでなく、活動紹介の展示は継続したい。
- ・報告集はHPなどにも掲載し、より多くの方に見てもらえるようにしたい。
- ・展示をより効果的にするため、解説を充実させる。



幌延VC2階での展示



湿原センターでの企画展

②自然再生を伝えるための情報発信

③メディア戦略

結果

- エコモーのHP・Facebookから活動について随時更新したほか、関係機関からも情報発信を行った。
- 役場のHPで「自然再生通信」の掲載を行った。
- エコモーDayなどのイベントは北海道新聞と日刊宗谷の2社に紹介してもらえた。

今後に向けて

- FacebookやHPを活用した情報発信を引き続き行い、アクセスを増やす。
- サポーター個人からの発信は難しいので、参画機関ごとに随時発信を行っていく。
- 発信するメディアの数を増やしていく。

平成30年6月21日

サロベツの自然と農業、それらをつなぐ自然再生事業について学びました
～豊富中学校の生徒を対象に出前講座及び見学会を実施～

(平成30年6月22日掲載)

豊富町のサロベツ温泉センター及び国産総合農地防災事業サロベツ地区の落合緑衛署において、豊富町立豊富中学校1年生22名を対象に環境省准内自然保護官事務所及びNPO法人サロベツ・エコ・ネットワークの協力を得て、出前講座及び見学会を開催しました。

生徒達は、「利尻札文サロベツ国立公園の自然環境」と「サロベツの地域農業と自然再生事業の取り組み」の講座を受講したあと、センター内の展示物を利用した自然と農業に関するクイズにチャレンジし、豊富町の貴重な自然環境や豊富町を支えている農業、そしてこれらを守るための取り組みである自然再生事業について学習しました。

また、サロベツ温泉センター裏手にある自然観察路において、カキツバタ、エゾカンゾウ、カママツソウなどの植物観察や、准内開発建設部がサロベツ地区で造成した落合緑衛署の施設見学を行いました。限られた時間ではありましたが、自然環境と地域農業との共生に向けた取り組みを重に感じていました。



出前講座学習



クイズ形式学習



自然観察学習



施設（緑衛署）見学学習

※開発局HPより

エコモーDay開催記事 北海道新聞9.28



サロベツ・エコモーDay (講演会)

【豊富】サロベツ・エコモーDayは、このほどサロベツ温泉センターで開催。参加者は、スタンブライヤーやバター作りなどのイベントや講演会を通して、あつて当然の自然と基幹産業の酪農の大切さ(共生)を学んだ。親と一緒に参加した子ども達は、温泉が一望できる椅子車体験試乗、トラクターのコントロールや牧草ロールに乗って大はしゃぎ。地元の高校生らによる無料の木道ガイドは、観光客に人気だった。講演会では農業・食品産業技術総合研究機構農業環境変動研究センターの江川知花研究員が「温泉と農地に入り込む外来植物」をテーマに講演。在来種の生育不良や交雑することで純粋な在来種が減少するほか、農業分野で収量や品質低下を招く、侵略的外来種がサロベツでも定着しつつあると述べ「根気よく対策を行うことが、地域全体からこれらを減らすこととなる」と説いた。

はびこる外来種

サロベツ・エコモーDay 駆除は根気よく

日刊宗谷 2018年9月28日

<役割2>

自然再生に取り組む団体を繋げる

<具体的取組>

- ①エコモー☆メンバー同士の交流の場を作る
- ②SNSやネットの活用
- ③新たなメンバーの勧誘
- ④他協議会との交流

① エコモー☆メンバー同士の交流の場を作る

成果

- ・ エコモーcaféを6,7,2月に計3回開催した。
- ・ エコモー交流会を12月に実施し、34登録活動の内4活動について発表いただいた。
- ・ 報告会後は懇親会を開催し、豊富高校さんよりお菓子の提供もしていただいた。

今後に向けて

- ・ 交流会は一般向けにするか、サポーター限定とするか検討の必要。
- ・ 当日の発表が無い登録団体や、行政関係者にも参加してもらえるように声掛けをする。



交流会会場の様子

発表の様子



活動や地域との交流等、サロベツ
地域・自然を愛する心を養い、サ
発信することのできる次世代の環



懇親会場の様子



- ② SNSやネットの活用
- ③ 新たなメンバーの勧誘
- ④ 他協議会との交流

実績

- ・エコモ-関係者へのMLを用いて、イベント情報などを発信した。
(計15回)
- ・新たなメンバーの勧誘は、ホッキ祭り時に登録ブースを設けたほか、事務局を中心に随時勧誘を行った。
- ・一昨年、宮城で開催された「自然再生全国会議」への参加報告を6月の自然再生協議会で行った。

今後に向けて

- ・MLはメンバー同士の相互発信がないので、気軽に自身の活動などについて投稿できるよう呼びかけを行う。
- ・メンバー自身からの発信が難しい場合は、事務局で情報を集めて発信できる仕組みづくりが必要。

お知らせ

【案内】エコモ-☆メ-リングリストに入りませんか？

お知らせ
記事作成日：2017.7.16
担当：管理者

今年度からエコモ-・プロジェクト関係者のメ-リングリストをはじめました。
もちろん、活動に興味のある一般の方も登録可能です。

各団体のイベントのお知らせ等が届きますので、登録希望者はエコモ-事務局まで氏名とメ-ルアドレスをご連絡ください。

<エコモ-事務局> ↓
ecomom@sarobetsu.or.jp

※サロベツ・エコモ-・プロジェクト
ホームページより



<役割3>

エコモープロジェクトの推進を図る

<具体的取組>

- ①エコモープロジェクトの運営への協力

① 運営への協力 ② 活動サポート情報の提供

実績

- ・エコモ一活動のHP・ML・FBでの告知、活動の補助、ポスター作成などを事務局で実施した。
- ・サポート情報の提供は実施していないため、評価できず。

今後に向けて

- ・現在行っている事は引き続き実施し、活動の輪を広げていきたい。
- ・事務局で協力可能な情報(活動の助成金など?)を集めて、MLなどで発信していく。
- ・メンバーが気軽に相談できるようMLでも随時情報を発信していく。
- ・



ポスター作成(ばん馬大会)



会場提供(豊徳地区協議会ポイ捨て防止活動)